

<p>【技術の名称】 大林組の逆打支柱に用いるノンダイアフラム柱梁 接合部工法</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第16-12号 性能証明発効日：2016年7月26日</p> <p>【取得者】 株式会社大林組</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、逆打支柱鉄骨を芯鉄骨とした鉄骨鉄筋コンクリート柱と鉄骨梁との柱梁接合部において、鉄骨梁端の局部耐力およびコンクリートのコーン状破壊耐力・支圧耐力による曲げ抵抗を極限解析法により評価することで、ダイアフラムなどによる補強を不要とする柱梁接合部工法である。

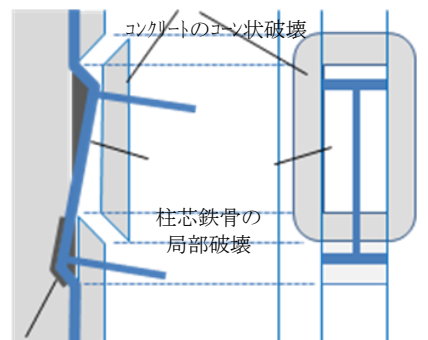
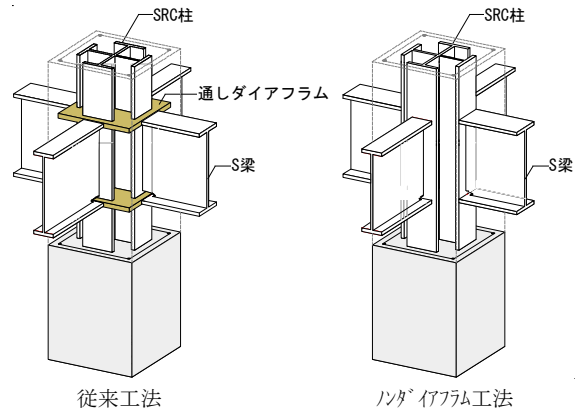
【技術開発の趣旨】

本技術は、逆打支柱鉄骨を芯鉄骨とした鉄骨鉄筋コンクリート柱と鉄骨梁とのノンダイアフラム形式とした柱梁接合部を対象とし、梁端部に作用する曲げに対する崩壊機構に基づく接合部設計式を構築したものである。梁端接合部の許容曲げモーメント算定では、柱芯鉄骨の局部破壊とコンクリートのコーン状破壊・支圧破壊を考慮した崩壊機構を新たに設定している。本技術は、このノンダイアフラム接合部を対象とした部分架構実験・解析を踏まえて接合部設計法の妥当性を検証した工法であり、申込者の独自工法として開発された。

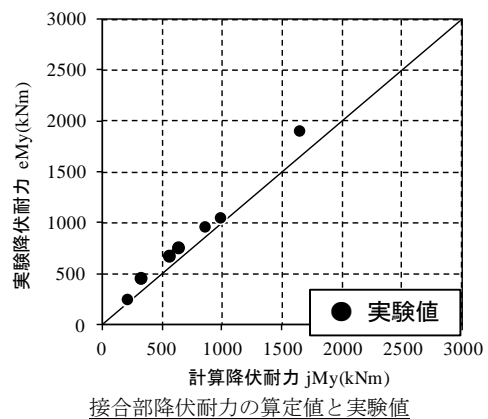
【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「大林組の逆打支柱に用いるノンダイアフラム柱梁接合部工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された柱梁接合部は、同指針で定める長期および短期許容曲げモーメント、ならびに接合部パネルの許容せん断力時モーメントを有する。



コンクリートの支圧破壊 接合部全塑性耐力時の崩壊機構



【本技術の問合せ先】

株式会社大林組 設計本部構造設計部 担当者：中塚光一
 〒108-8502 東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟

E-mail：nakatsuka.koichi@obayashi.co.jp
 TEL：03-5769-1599 FAX：03-5769-1739